

10月の農作業

平成21年10月13日
J A テ ラ ル 越 前
奥越農林総合事務所

今月のポイント

- ★生ワラは燃やさずに土づくり
- ★里いも優良種子の選抜
- ★そばの排水対策及び害虫防除
- ★麦の播種
- ★大豆の適期刈り取り



1. 今後の気象予想（新潟地方気象台）

北陸地方 1か月予報

（10月3日から11月2日までの天候見通し）

〈予想される向こう1か月の天候〉

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

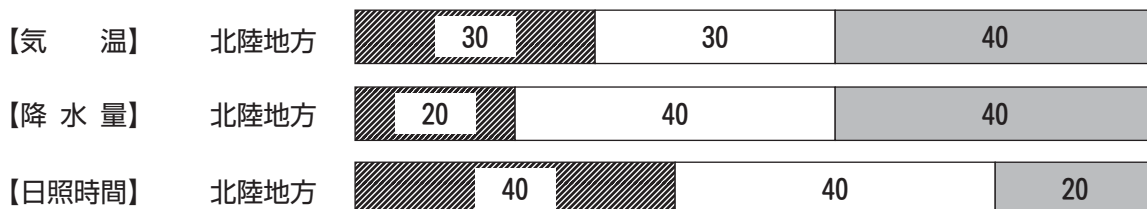
天気は期間の初めは平年に比べて曇りや雨の日が多いですが、その後は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の降水量は平年並または多い確率ともに40%です。

日照時間は平年並または少ない確率ともに40%です。

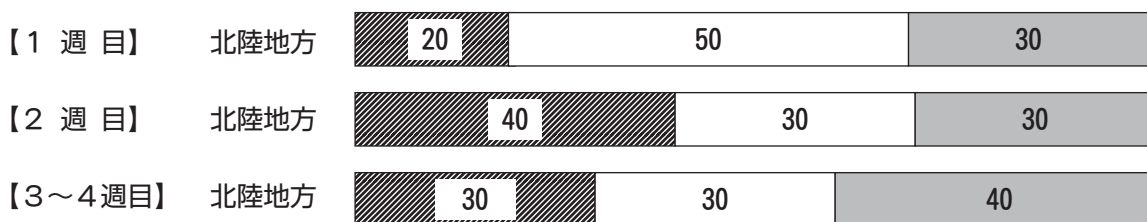
週別の気温は、1週目は平年並の確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）〉



■ 低い (少ない) □ 平年並 ■ 高い (多い)

〈気温経過の各階級の確率（%）〉



■ 低い □ 平年並 ■ 高い



〈予報の対象期間〉

- 1 か 月：10月3日（土）～11月2日（月）
- 1 週 目：10月3日（土）～10月9日（金）
- 2 週 目：10月10日（土）～10月16日（金）
- 3～4週目：10月17日（土）～10月23日（金）



北陸地方3か月予報

〈10月から12月までの天候見通し〉

〈予想される向こう3か月の天候〉

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は平年並または高い確率ともに40%です。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は高い確率50%です。

12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

〈向こう3か月の気温・降水量の各階級の確率(%)〉

【気温】[北陸地方] 3か月



10月



11月



12月



【降水量】[北陸地方] 3か月



10月



11月



12月



■ 低い(少ない) □ 平年並 ■ 高い(多い)

2. 農産物対策

水 稲

1. 来年度の作付計画は今のうちに

2. 土づくり

稲の刈り取りもほぼ終わりましたが、気温の高い今のうちに土壌改良資材を施用し、深耕に努めてください。

尚、石灰窒素・いね一番は散布10日以降に、十分に成分が溶けてから耕起してください。

3. 圃場耕盤の均平化

稲の安定生育には、圃場耕盤を均平化することがポイントであり、耕耘作業を低速にして、今年の内圃場耕盤の均平化に努めてください。

大豆

1. 刈り取り時期

○手刈り

葉は完全に落ちて、ほとんどの莢がカラカラと音がする時期で、大豆がこぼれるため、午前中に収穫してください。

○コンバインによる刈り取り

手刈りより5～7日ぐらい遅らせ、すべての莢がカラカラと鳴り、莖が手でポキポキと折れるときで、汚損粒の発生を防ぐため、青立ち等の莖は収穫前日までに取り除き、また土の混入を防ぎ、日中に収穫してください。

2. 脱穀

手刈りした大豆を高水分のまま脱穀すると、汚損粒が発生しやすいので、島立て・地干しなどにより乾燥させてから脱穀してください。

3. 乾燥

急激な乾燥を行うと、収穫時の高水分ではしわ粒、低水分では裂皮しやすいので、乾燥温度は外気温より少し高い温度で気長に行ってください。

そば

1. 排水対策

根の機能を高め結実・稔実を良くするため、排水の徹底を図ってください。

2. ヨトウムシの発生に注意

夏季の高温により、ヨトウムシの発生が見られます。
ヨトウムシの被害に遭うと短期間で相当のダメージを受けるので、早期発見と防除に努めてください。

◎防除剤

●ロムダンフロアブル2000倍を150～300リットル/10aまたは、ロムダン粉剤DLを4kg/10a散布

※この2剤は、収穫21日前までに使用、またどちらを使用しても2回以内とする。

3. 刈り取り

刈り取り時期は、11月上旬頃ですが、圃場毎に収穫時期が異なりますので注意してください。

遅刈りになると刈り取り時の脱粒によるロスが多くなるので、70～80%位が成熟し、黒褐色に変わった時に行ってください。またコンバインによる刈り取りの場合は、葉枯れしてから行ってください。

大麦

1. 播種時期

時期は10月上旬～中旬に行ってください。

但し、若干遅れても圃場条件が良いときに播種することが大切です。圃場の水分が少ない好条件の日

2. 播種量

条播、散播とも6～7kg/10a

3. 種子消毒

〈浸漬法〉ベンレートT水20

(200倍液)の24時間浸漬

※浸漬後は、直ぐにムシロ等に広げて乾かしてください。

または〈粉衣法〉ベンレートT水20
乾燥種子重量の(0.5%)粉衣

4. 元肥(播種後に元肥を施用)

複合高度44 散播 30kg/10a

条播 20～25kg/10a

または一発肥料

スーパークート麦一発

35kg/10a

5. 除草剤

条播(播種後、完全に覆土し、麦の発芽するまで)

ガレースG粒 4～5kg/10a

または(播種後、完全に覆土し、播種3葉期)

ハーモニー細粒剤F

4～5kg/10a

散播（3葉期～節間伸長期）
ハーモニール75 DF水

薬量5～10gを水100リットル／10a



農業機械による

作業時の注意事項

★機械作業は最も災害の危険性が高い作業です。事前の機械整備と共に、十分に安全を確認して移動および作業を行うてください。

★トラクター、汎用コンバイン作業時で道路を移動するとき、タイヤ・キャタピラに付いた泥で道路が汚れないようご注意ください。泥が多く付いているときには一度、車輪を洗浄してから移動するよう请您してください。

里芋

良質な里芋を収穫するために、来年度の里芋は病害虫の有無を良く確かめて、1粒50g以上の大粒の健全な種芋を確保してください。10a当たり200～250kg必要です。

圃場は、秋に3～5回充分に耕起、碎土をしておき、排水溝を設けてください。モミガラを混和すると通気性が良くなり、さらに芋の形状が良くなります。

花卉

キク

10月は定植の時期です。遅くとも中旬までには定植してください。

○定植のポイント

定植目標を10月1日からとして作業を進める。早めの定植は、春の芽立ちの安定につながり、定植

が遅れると冬の寒さに耐えられず、春の芽立ちの悪化につながります。

暮れ植えの苗は、大株の方が良い。若苗で遅植えの場合は、春の芽立ちが非常に悪くなります。

○10月咲きの管理（出荷）

切り出し

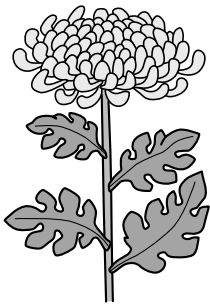
一番重要なことは、「切り前」（咲き具合）が一様であることです。

病害虫防除

出荷間近の品種は、幕切れ前にオオタバコガの殺虫剤を花の部分だけ散布してください。

【主な使用農薬】

- ラーベンフロアブル・ガードジェツ
- ト水和剤・ロムダンフロアブル・
- アフアーム乳剤・スピノエース
- 顆粒水和剤・プレオフロアブル



シンテツポウユリ

中心球の掘り上げ

切り下株の掘り上げを行います。

暮れ植えの場合

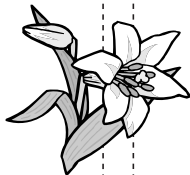
11月の定植まで

日陰で保存します。

春植えの場合

春まで保冷庫に入れて

保管します。



スプレーギク

病害虫防除

害虫の発生は少なくなってきましたが、アブラムシ・ダニ・夜蛾類には注意して、発生を見たら初期防除に努めてください。